

【技術の名称】 シースルー耐震補強工法 ー格子ブレースを用いた鉄骨系補強架構による耐震補強工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 22-03 号 性能証明発効日：2022 年 5 月 2 日 【取得者】 株式会社鴻池組
---	---

【技術の概要】

本技術は、格子ブレースを用いた鉄骨系補強架構（増設耐震壁）によって、既存建築物を耐震補強する工法である。枠鉄骨（枠柱、枠梁）の中に、H 形鋼を高力ボルトのスプリットティ接合により組み合わせた斜め格子状の補強部材を配置し、それらを補強接合部（間接接合部）を介して既存架構と一体化する。個々の補強部材に H 形鋼の規格品を切断した小型部材を用いることで、構造的な補強要件を満足するだけでなく、意匠計画や施工面への配慮も可能としている。

【技術開発の趣旨】

一般的な鉄骨ブレース補強では、鉄骨の重厚さから建築物のファサードや室内において、透過性や軽快感が失われる傾向にある。本技術ではこれを解消するために、斜め格子状に補強部材を配置することにより、同じ開口率でもより高い視認性、開放性、透過性を確保し、軽快感がある印象を得られる形状とした。また、H 形鋼の規格品を切断した小型の補強部材を用い、それらを高力ボルト接合することで、鉄骨加工手間を極力省略し、個々の補強部材の寸法を小さく抑えることが可能となり、補強現場での施工性（資材運搬・搬入、組立て）の向上も実現した。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「シースルー耐震補強工法設計・施工指針」に従って設計・施工された既存架構と増設耐震壁は、同指針で定める終局耐力および変形性能（耐震診断において用いる靱性指標 F 値）を有する。

○適用範囲

本技術は RC 造または SRC 造の既存建築物の耐震補強に適用する。

- ・構造種別：RC 造または SRC 造
- ・コンクリート強度：既存建物のコンクリート強度の下限値は推定強度 13.5N/mm^2 以上かつ設計基準強度 $\times 3/4$ 以上とし、上限値は設計基準強度の 1.25 倍程度かつ 30.0N/mm^2 を超えない範囲とする。

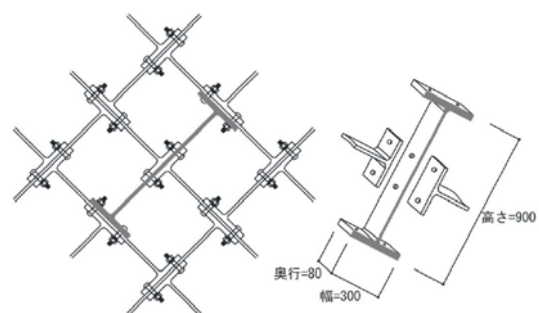
○使用材料

- ・格子ブレース
：H-900x300x19x28 (材質 SN400B)
- ・枠鉄骨：材質 SS400 または SM490A
- ・ボルトセット：F10T または S10T

○工法概要



補強イメージ



格子ブレース

【本技術の問合せ先】

株式会社鴻池組 担当者：志摩 好宣

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町 3-6-1

E-mail：shima_yn@konoike.co.jp

TEL：06-6245-6410 FAX：06-6245-6335